酒田市　地域自殺実態プロファイル 2024

■1　自殺の特徴

・酒田市（住居地）の 2019～2023 年の自殺者数は合計 97 人（男性 70 人、女性 27 人）でした。（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」より集計）

主な自殺者の特徴（2019～2023 年合計）

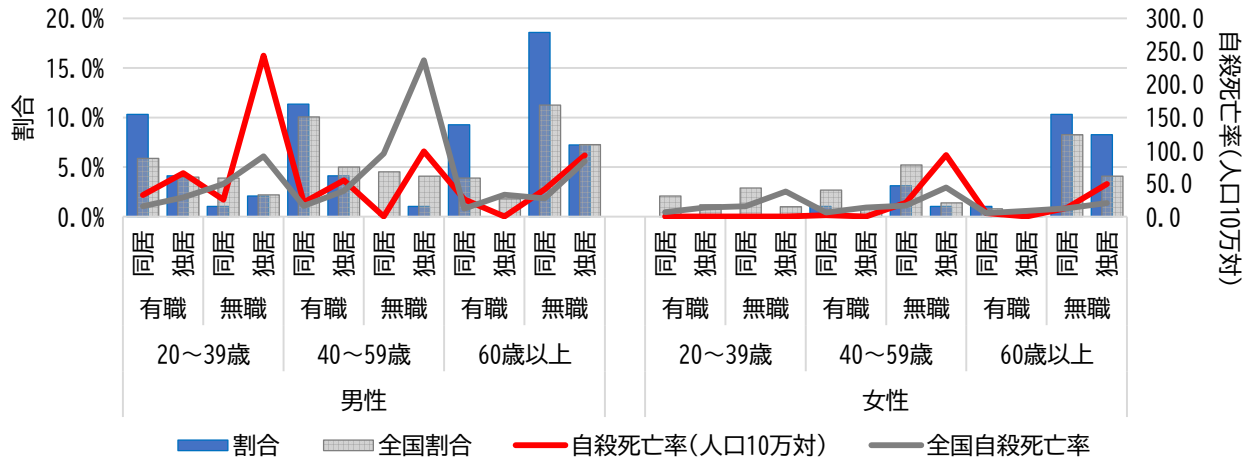
自殺者の特性上位５区分	自殺者数（5 年計）	割合	自殺死亡率*1（人口 10 万対）	背景にある主な自殺の危機経路*2
1 位:　男性 60 歳以上 無職同居	18	18.6%	41.0	失業（退職）→生活苦＋介護の悩み（疲れ）＋身体疾患→自殺
2 位:　男性 40～59 歳 有職同居	11	11.3%	21.2	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺
3 位:　男性 20～39 歳 有職同居	10	10.3%	32.9	職場の人間関係／仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ＋過労→うつ状態→自殺
4 位:　女性 60 歳以上 無職同居	10	10.3%	13.1	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
5 位:　男性 60 歳以上 有職独居	9	9.3%	25.9	①【労働者】身体疾患＋介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺／ ②【自営業者】事業不振→借金＋介護疲れ→うつ状態→自殺

資料：警察庁自殺統計原票データをいのち支える自殺対策推進センター（以下、JSCP）にて個別集計

*1 自殺死亡率の算出に用いた人口は、総務省「令和２年国勢調査」就業状態等基本集計を基に JSCP にて推計したもの。

*2 「背景にある主な自殺の危機経路」は、ライフリンク「自殺実態白書 2013」を参考に推定したもの（詳細は付表の参考表１参照）。自殺者の特性別に見て代表的と考えられる経路の一例を示しており、記載の経路が唯一のものではありません。

地域の自殺の概要（2019～2023 年合計）



資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計

■２　勤務・経営関連資料

職業別の自殺の内訳（2019～2023 年合計）

職業	自殺者数	割合	全国割合
有職	41	42.7%	39.5%
無職	55	57.3%	60.5%
合計	96	100%	100%

・性・年齢・同居の有無の不詳を除く。

資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計

■３　高齢者関連資料

６０歳以上の自殺者数の内訳（2019～2023 年合計）

		自殺者数		割合		全国割合	
	同居人の有無	あり	なし	あり	なし	あり	なし
男性	60 歳代	10	1	18.9%	1.9%	13.1%	10.2%
	70 歳代	7	5	13.2%	9.4%	14.8%	8.8%
	80 歳以上	10	1	18.9%	1.9%	12.2%	5.4%
女性	60 歳代	2	2	3.8%	3.8%	8.2%	2.9%
	70 歳代	3	2	5.7%	3.8%	8.9%	4.4%
	80 歳以上	6	4	11.3%	7.5%	6.8%	4.3%
合計			53		100%		100%

資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計

■４　自殺手段関連資料

手段	人数	割合	全国割合
首つり	76	78.4%	66.2%
練炭等	10	10.3%	7.5%
その他	11	11.3%	26.3%
合計	97	100%	100%

資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計

■５　自殺未遂歴の有無別自殺者数

未遂歴	自殺者数	割合	全国割合
あり	20	20.6%	19.5%
なし	76	78.4%	62.9%
不詳	1	1.0%	17.6%
合計	97	100%	100%

資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計

■ 資料編

参考表１ 生活状況別にみた背景にある主な自殺の危機経路（例）

生活状況				背景にある主な自殺の危機経路（例）
男性	20～39 歳	有職	同居	職場の人間関係／仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ＋過労→うつ状態→自殺
			独居	①【正規雇用】配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺／②【非正規雇用】（被虐待・高校中退）非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺
		無職	同居	①　【30 代その他無職】ひきこもり＋家族間の不和→孤立→自殺 ②　【20 代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
			独居	①　【30 代その他無職】失業→生活苦→多重債務→うつ状態→自殺 ②　【20 代学生】学内の人間関係→休学→うつ状態→自殺
	40～59 歳	有職	同居	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺
			独居	配置転換（昇進/降格含む）→過労＋仕事の失敗→うつ状態＋アルコール依存→自殺
		無職	同居	失業→生活苦→借金＋家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺
	60 歳以上	有職	同居	①　【労働者】身体疾患＋介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺 ②　【自営業者】事業不振→借金＋介護疲れ→うつ状態→自殺
			独居	配置転換／転職＋死別・離別→身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	失業（退職）→生活苦＋介護の悩み（疲れ）＋身体疾患→自殺
			独居	失業（退職）＋死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
女性	20～39 歳	有職	同居	離婚の悩み→非正規雇用→生活苦＋子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	①　非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺 ②　仕事の悩み→うつ状態→休職／復職の悩み→自殺

女性	20～39 歳	無職	同居	DV 等→離婚→生活苦＋子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	①　【30 代その他無職】失業→生活苦＋うつ状態→孤立→自殺 ②　【20 代学生】学内の人間関係→休学→就職失敗＋うつ状態→自殺
	40～59 歳	有職	同居	職場の人間関係＋家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	職場の人間関係＋身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	近隣関係の悩み＋家族間の不和→うつ病→自殺
			独居	夫婦間の不和→離婚→生活苦→うつ状態→自殺
	60 歳以上	有職	同居	介護疲れ＋家族間の不和→身体疾患＋うつ状態→自殺
			独居	死別・離別＋身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
			独居	死別・離別＋身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

・背景にある主な自殺の危機経路はライフリンク「自殺実態白書 2013」を参考にしている。自殺者の生活状況別に見て代表的と考えられる経路の一例であり、記載の経路が唯一ではありません。